

国際平和デー（2022年9月21日）100日前メッセージ

9月21日の「国際平和デー」まで残り100日となりました。

「国際平和デー」は、全ての国と人々の共通の理想である国際平和の実現を記念・推進するために国連が定めた日であり、平和の大切さや尊さを考える重要な一日です。改めて、この「国際平和デー」を強く推し進めておられるアントニオ・グテーレス国連事務総長のリーダーシップに心から敬意を表します。

世界恒久平和への道筋として、「核兵器のない世界の実現」と「安全で活力のある都市の実現」、そして「平和文化の振興」という三つの目標を掲げる平和首長会議は、「国際平和デー」の理念に賛同し、記念行事を開催するとともに、加盟都市にその開催を呼び掛けてきました。

今年も、166か国・地域の8,174の加盟都市に対して、広島・長崎に原爆が投下された日である8月6日や9日に加え、9月21日の「国際平和デー」に、市民一人ひとりが平和への願いを共有し、その実現を祈念する行事を開催していただくよう呼びかけます。

世界は今、ロシアによるウクライナ侵攻により、核兵器使用のリスクが高まり、国際社会がこれまで築いてきた核軍縮・不拡散体制を崩壊させかねない深刻な事態に見舞われています。このような時こそ、平和首長会議は、国や党派を超えて、市民の平和な暮らしを守る責務を負う世界中の加盟都市との連帯をより一層強め、市民社会の平和への思いを国際的な規模で醸成していきたいと考えています。

「国際平和デー」を機に、改めて加盟都市が心を一つにし、世界中の市民の平和への思いを結集させることにより、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流を作っていくまいしょう。

2022年6月13日
平和首長会議会長
広島市長 松井 一實